

介護保険料の段階増設を視野に検討

問 平成18年度介護保険料の見直しは。

答 介護サービス量の伸びからある程度の保険料上昇は避けられないが、保険料の段階を増やすことで低所得者の負担軽減等が図られるため、現行の五段階を七段階とすることも視野に検討している。

遊休農地の解消に向けて

問 遊休農地解消プランの内容と策定時期は。

答 急増する遊休農地等のうち、農業上の利用増進を図るべき土地等を具体的に示し、地域単位の実情に即した解消・防止を図るもので、農業委員会が行う実態調査の結果がまとまり次第分析を行い、平成18年度中に市農業経営基盤強化促進基本構想の中に位置づけたい。

新風会

岡山駅東西連絡通路

供用開始を前倒しへ

問 線路で分断され、活力低下が著しい岡山駅西口地区を再

生するため、駅の東西連絡通路の完成が待ち望まれているが、供用開始を早める考えは。

答 駅を挟んだ東西の連携を少しでも早く実現することが本市の発展にとって重要であると考え。橋上駅舎を含め平成19年秋に暫定供用を予定しているが、国や県の支援を受けながら一日でも早く供用開始を前倒ししたい。

北消防署の分割で管轄エリア拡大に対応

問 合併後の管轄エリア拡大で、消防車・救急車等の運用台

数が多くなる消防署では職員の負担増大が懸念されるが、対策は。

答 本市には四消防署と十三の消防出張所があるが、このうち七出張所を抱える北消防署管内の三門消防出張所を移転して西消防署(仮称)として格上げし、現在の北消防署を分割することで職員の負担軽

減に努めたい。

パスポート発給事務

県からの移譲に向けて

問 県から移譲されるパスポート発給事務について、その内容は、窓口設置場所や人員確保、財源等の考えは。

答 市民サービス充実のため、平成18年度中に申請受け付けと交付事務が移譲される予定だ。市民の利便性向上のため、

パスポート申請と戸籍等の交付は同一場所で行えることが望ましいと考えており、現在の県パスポートセンターの利用も含め、設置場所や人員配置、経費等について県や関係部署と早急に協議したい。

全国緑化フェア

平成21年度開催へ

問 カネボウ跡地での開催を

目指す全国都市緑化フェアに向け、本市の組織体制、県との連携は。

答 平成21年度の開催に向け、17年8月、都市整備局内に関係七課による大会準備調査会を



新たな消防拠点へ
(三門消防出張所)

設置し、過去に開催した都市の調査・視察を行うなど準備を進めている。今後、県・市など共同で設置される実行委員会の方針を受け、全庁的な組織作りが明らかになるものと考えているが、当面、県との協議を重ね連携に努めたい。

下中野平井線(旭川工区)早期事業着手に向けて

問 都市計画道路下中野平井線のうち整備が残っている岡山港線から岡山玉野線までの区間の重要性は、整備計画は。

答 当該区間は旭川に架かる桜橋と旭川大橋の中間に位置する橋りょうを含んでいることから、旭川東西の市街地の一体化や、市中心部の渋滞緩和に大きく貢献する重要な区間と認識している。今後、道路や橋の構造の検討を行い、早期事業着手に向け、地元住民の意見も聞きながら国・県等と協議・調整を進めていきたい。

共産党

子ども読書推進計画

読書環境整備を検討

問 子ども読書推進計画を市民協働で策定しては。

答 乳幼児期からの読み聞かせや書物に親しむ環境が大切であり、そのために家庭や学校、地域の連携・協力が不可欠だ。策定に当たっては、市民の意見も聞きながら読書環境の整備に向け具体的方法等を検討したい。



子どもたちが読書に親しむ機会を
~中央図書館での読み聞かせ

ヤングキャリア

ナビゲーション事業

問 勤労青少年ホームで実施しているヤングキャリアナビゲーション(若年勤労者キャリア形成支援・相談事業)の周知を。

答 市広報紙や労働関係の機関紙等で広報しているが利用が低調なことから、各種機会をとらえて周知し、積極的に利用向